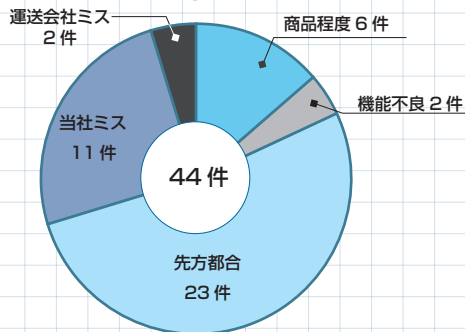


# リポートニュース

平成 28 年 10 月号 NO.173

ここ 1～2 年リノベートパーツの買い付けに訪れる外国人バイヤーの数が  
増えています。毎月輸出用アイテムとして用意された数を上回るオー  
ダーが入り、国内用として在庫してあるパーツ類にも食指が動き始めてい  
ます。こうした活発な買い付けの背景には、日本から輸出される高年式中  
古車のアフターマーケット市場からの需要増とおもわれます。オークショ  
ン会場に出品された事故車も部品取り車両などに買われているようで、国  
内の解体事業者の在庫減につながっています。一過性の現象とは言いきれ  
ない状況です。

## 9月のクレーム ⑦ 集計報告



## 自社主力商品別クレーム (輸出版売はノークレームのため対象外です。)

商品別クレーム	件数	クレーム率	内 訳	
バンパー	3件	3/1,466	0.20%	取付ヶ所の補修甘く折れ、先端欠け、F ホースメン ト変形あり 各1件
フード	0件	0/270	0.0%	
フェンダー	2件	2/836	0.24%	中央ゆがみあり、全体歪み上部チリ合わない 各1件
ドア・Rゲート	0件	0/234	0.0%	
ライト	3件	3/1,181	0.25%	光軸不具合2件、取付補修ヶ所の仕上がりが悪い1 件
計	8件	8/3,987	0.20%	

## 豆知識 フェアレディ Z Z34 H20.12～発売 初期形テールランプの年式による相違点

H20.12～H22.11 ハウジング赤色

H22.11～ ハウジンググレー色

見た目の形状は全く同一ですが、ハウジングの色が違っています。日産系では色違いの小変更は  
ときどき見られます。機能的には全く問題ありません。



左側：赤色のハウジング  
右側：グレーのハウジング



左側：裏側 赤色のハウジング  
右側：裏側 グレー色のハウジング

## 豆知識 タントカスタム LA600S H25.9～発売 テールランプの年式による機能変更

H25.9～H27.5 カブラ配線 1本

H27.5～ カブラ配線 2本

H27.5～ではエマージェンシーストップシグナル機能が追加装備された為、カブラ配線が2本  
になりました。

※エマージェンシーストップシグナルは60km以上で走行中に急ブレーキをかけた場合、自動でハザードが点滅する装置です。



左側：～H27.5 カブラ配線 1本  
右側：H27.5～ カブラ配線 2本



右側がエマージェンシー  
ストップシグナル装備タイプ

## 内部監査

リノベートパーツの品質維持、お客様の満足度アップ、作業環境の向上、等のカイゼンが継続  
的になされているか？こうした業務の自主点  
検が内部監査に相当します。顧客アンケート  
調査は、リノベートパーツの利便性が向上し  
ているかの評価を直接お客様から尋ねるもの  
です。例年内部監査ではたくさんの問題点が  
指摘されカイゼン指示が出されます。こうした  
カイゼンを一つ一つクリアすることがリノ  
ベートパーツの信頼性を高めてゆくものと  
考え、スタッフ全員で取り組んでいます。



監査員のミーティング

## お客様満足度調査スタート

(期間 10月11日～12月15日)

このアンケート調査は、日頃リノベートパ  
ーツをご利用されているお客様からご意見を頂  
き、より使い勝手の良い、身近なパーツとし  
て利用し易くするカイゼンに役立てるもので  
す。お客様のご要望に一步でも近づけられ  
るようにスタッフ全員で努力してゆきますので、  
ご協力をお願いします。

アンケート用紙▶



## 使って良かった！

### メリットいっぱいの自動車リサイクル部品！

10月は自動車リサイ  
クル月間です。この期  
間に配布するチラシが  
経済産業省・国土交通  
省・環境省の後援を得  
て出来上がりました。  
チラシをご希望の方は  
尾形までご連絡くださ  
い。



## 生産部スタッフ紹介 ライト課補修作業担当 元木パート社員

ライト課にはレンズ面を磨くク  
リーニング班と破損したステーを  
修理する補修班があります。元木  
パート社員は8名の補修班の中  
で最古参に入る足かけ18年の  
キャリアを持つベテランです。現  
在はステーの複雑な破損を中心  
に修復を進めるかたわら、後輩の  
技術指導も担当し、リノベート  
パーツの品質向上に努めています。



## 新入社員

ライト課の生産性向上と若  
返りを図るために19歳の  
新入社員2名が入社しま  
した。これでライト課は社員  
6名、パート社員19名の  
総員25名の編成となり、  
ヘッドライトの月間1500  
個を目標に生産活動を進め  
てゆきます。若手社員とベテランパート社員が一丸になって高品質なヘ  
ッドライトを供給し続けられるように努力してゆきます。



左：榎本君と右：松原君